

「ハチミツよりももっと甘いモノ」

突然ですが、蜜って聞いて何を思いますか？

小学生の時によく吸った蓮華つつじのはなの蜜ですか？

それともプーさんが大好きなハチミツですか？

甘いものが苦手な方でなければ蜜と聞いて多くのことを連想したのではないかと思います。

皆さんがよく知っているハチミツ(例えば淵野辺のスーパーにて448円で購入できる蜂蜜)。

これは国際基準的には蜂蜜ではないらしいです。

本当は、製糖蜂蜜とか加糖蜂蜜と言われていて砂糖を足すなどして甘くしたいわば偽物のハチミツです。純度100%のハチミツは少々、値が張ります。

何でこんなに蜜とかハチミツに執着して話をするかといいますと、私の中学時代の標語が「他人の不幸は蜜の味」だったからです。よく昼ドラとかで聞く名セリフです。

友人が失敗したり、困難にぶち当たったりしている時、心の奥底で笑い、嘲り、それをネタとして友人をイジって生きている時期がありました。

「教室は失敗する場所だ。だから失敗しても恥ずかしくない」と義務教育課程の先生方はよくおっしゃいます。

そう！教室は失敗だらけなんです。

幸いなことに、心の優しい友人が多かったため、「今日は口が悪いね～」などと冗談として受け入れてくれていました。

「あなたのみことばは、私の上あごに、なんと甘いことでしょう。蜜よりも私の口に甘いのです。」詩篇119:103(口語訳)

こんな生活をしている私のことを友達は放っておいても、神さまは放っておきませんでした。そんな人の失敗から絞り取ったような純度の低い蜜よりも、もっと甘いハチミツがあるのに。そしてもっと甘い御言葉があるのに。きっとそう思われたのでしょう。

高校生になり、教会に通う機会が与えられ、だんだんと御言葉に魅せられていく自分がいました。本当に友人達にひどい事を言ってしまったと気づき、何度も後悔しました。

考え方を含む内面から御言葉によって変えられていくことを感じたこと。このことも私が神さまを信じようと思ったきっかけのひとつです。

今ここでコイノニアを書くことが出来ていること、ACF で活動していることその全てが多くの御言葉との出会いによるものです。

このことを思い日々、感謝しています。